＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
TRACK 01｜女性に食べ残された性犯罪者 ― 女性の慈悲
＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝
指示がないセリフは
【咀嚼音】が始まりましたら【嚥下音】までは
【やや口に含んでいる様に(セリフの聞き取りやすさ優先)】にて
ご収録くださいませ。
(必ず、緻密に、ではございませんのである程度、ご留意頂く程度で構いません)

<BGM: 夜の草むら。遠くで虫の声。葉を撫でる風 (「★」まで。小さめの音)>

…こんばんは、雄カマキリさん。
今日も懲りずに、私を見に来たんですね。

<SE: 葉が擦れる>

そんな葉っぱの陰に隠れても無駄ですよ。
さっきから触角が丸見えです。

【定位①：マイクに少し近づいていただく（ここから）】

あなた、昨日も同じことしてましたよね。
私が振り向くと隠れて。また少ししたら近づいて。

【定位①：ここまで／元の距離に戻っていただく】

何が目的なんです？
…なんて。聞くまでもありませんね。
男が女性のところまで、わざわざ危険を冒して近づいてくる理由なんて。

セックス。でしょう？
はぁ…。【小さなため息】
男って分かりやすいですね。

でも残念。
お断りです。
あなた、私の好みじゃないので。

…あら。
それでも近づくんですか？
忠告しましたよ。
それ以上来たら――。

<SE: 素早い葉擦れ>

はい。
捕まえました。

【定位②：右耳元に寄っていただく。声は小さくしない（大きく割れない程度ここから）】

【聞き手を完全に食べ物として認識している。耳元で大きな声を出すことに配慮なんてしない】
暴れない。
男が女性に勝てるわけないんですから
無駄な抵抗はやめてください。
【定位②：ここまで／元の位置に戻っていただく】

…そうそう。
私たち女性のカマキリには、昔から伝わる掟があるんです。
男を捕らえた女性は、葉を三度鳴らす。

<SE：葉を軽く叩く音。3 回>

これで済みました。
この三度の音には、それぞれ大切な意味があるんですよ。
でも、あなたにはまだ教えてあげません。

ふふ。
口、開けますよ。
あなたが入れたかった場所より、ずっと奥まで連れてってあげます。
ただし片道。

はいはい、だから暴れない。

<SE: 鎌が身体を固定するような硬い擦過音>

じっとしていてください。
無理に逃げようとすると、余計に疲れるだけですよ。
…。
ほんと、男ってふざけてますね。
女性がセックスしたくないと言っても無理矢理迫ったくせに、
レイプ未遂犯の性犯罪者のくせに、
いざ自分が女性に反撃されたら、逃げようとする。
卑しい。
穢れ多き性別です。

…。
あの。
今、どこを見ているんです？
……。
またおっぱいですか。

呆れました。
自分が捕まったというのに、まだ女性の身体を眺める余裕があるんですね。

状況を理解しています？
あなたは今、女性のカマキリに完全に捕まっています。
そして。

【定位③：左耳元に寄っていただく。声は小さくしない（大きく割れない程度ここから）】
【聞き手を完全に食べ物として認識している。耳元で大きな声を出すことに配慮なんてしない】

私はこれから、あなたを食べます。

【定位③：ここまで／元の位置に戻っていただく】

…怖い？
……。
でしょうね。
震えていますから。

でも。
そのくせ、まだ私のおっぱいから目を離さない。

本当に男って欲深い。【冷たい声】
……。
最期に何か言いたいことはあります？
助けてほしい。
命だけは取らないでほしい。
普通なら、そのあたりでしょうか。

…。
は？
…エッチしたい？
……。
はぁぁぁぁ…。【長いため息】
あなた。
今から食べられるんですよ？

その状況で、最期のお願いがそれですか。

さっきも言いましたが、お断りします。
私はあなたを恋愛用の男として選んでいません。
食用の男として見ています。

…そういえば。
あなた、名前は何というんですか？
……ああ、答えなくていいですよ。
聞いておいてなんですけど、興味ありませんから。
女性同士は、ちゃんと名前で呼び合います。
でも、男の名前を私が覚えて、それで何になるんでしょう。
あなたにとって私は、どうしても振り向いてほしい相手。
でも私にとってあなたは、たまたま近づいてきた一人の男。
…その違い、分かります？
…。
ちょっと。
まだセックスしようとしているんですか？
うわ…。【引いた声】

本当に、救いようがありませんね。
男って、性欲の奴隷ですね。
服、脱がせますね。
食べ物には必要ないですから。

<SE: 服を脱がす音>

……うわ、勃起してる。
ほんと男ってバカ

…あ。
おちんちんがビクンッってした。
気持ち悪い。

バッタとか、蝶とか、普通の獲物なら、
今ごろ命乞いをしています。
それなのにあなたは、自分の命より、セックス。
普通の食糧よりもさらに下等な食糧。それが男。

またビクンッってしましたね

女性から男性蔑視を受けることまで、
ご褒美にしないでください。
…。
これだから男は。【独り言のようにつぶやく】

あ、また跳ねた。

はぁ…。【ため息】
男性差別を受けて興奮するって、バカなんですか？
男としての誇りとか、ないんですか？

では。
まずは左の鎌から。
いただきます。

【咀嚼音 10 秒】

この音を、よく聞いてください。

【咀嚼音 3 秒】

性犯罪者の男が、性被害者の女性に食べられる。
犯罪が一つ減り、世の中が平和になる音です。

【咀嚼音 5 秒】

綺麗な性別である女性が、汚い性別である男を食べる。
世の中から汚いものが減り、綺麗なものが増える音です。

【咀嚼音 7 秒】
【嚥下音 1 回】

…。
まだ暴れるんですね。
その割に、まだ勃起してるし。

【咀嚼音 5 秒】
女性に食べられるのが嬉しい？【食べ物を口に含んでいる様に】

【嚥下音 1 回】

え。ちょっと。
左の鎌を食べられながら、右の鎌でオナニーを始めるんですか？

【咀嚼音 5 秒】

気持ち悪い。今すぐやめてください…
…と言いたいところですが、
これから死ぬあなたから、最期の楽しみすら取り上げるのは、かわいそうですね。
勝手にしてください。

【咀嚼音 10 秒】
<間 2 秒>
【嚥下音 1 回】
<間 1 秒>

左の鎌は食べ終わりました。
次は、羽を食べますね。

【咀嚼音 12 秒】
<間 1 秒>
【嚥下音 1 回】

【演技④: 以下、セリフの間に咀嚼音と嚥下音を継続 】
【食べながらではなく、途中途中に以下が、SE として挟まります。】
【咀嚼音 20 秒 + 嚥下音 3 回】
【それを考慮頂いてやや食べ物を口に含んでいる様に(セリフ聞き取りやすさ優先)にて
ご収録お願い致します。】

本当、男ってバカな性別。
性欲さえなければ、生きていられたのに。
性欲なんかがあるから、女性に逆らえない。
……。
知ってましたか？
男という性別は、女性の不完全版だと言われています。
自分で子供を産めない、言ってしまえば障害を負った性別です。
それゆえ、女性に優秀な精子製造機として認められないと、自分の価値を確信できない。
だから、自分の価値の証明をかけて、女性に精子を渡したがる。

こうして、性欲だけが進化したんです。
私たち女性は、女性であることを証明するために、誰かに認めてもらう必要なんてありません。
男は、進化レベルで愚かなんです。
本当に、可哀想な性別です。
でもね、そんなくだらない精子製造機の事情に付き合わされる女性が、
一番可哀想なんですよ。
…。
しかも、精子製造機って、子供を作るために絶対に必要ってわけでもないんですよね。
南アフリカに住むスプリングボックカマキリは、女性だけで子供を産めるんです。
ふふ。
男って、要らない存在なんですね。

【演技④ ここまで】
【咀嚼音 5 秒】

最初はあんなに必死に羽ばたいていたのに。
あなたの左の鎌も、羽も、もう私のお腹の中。

……逃げられませんね。【囁き】

そしてこれから、左の脚も、私に食べられます。

【咀嚼音 10 秒】

なのに。
まだ私を見ながら、残された右の鎌でしこしこしています。

【咀嚼音 15 秒】

ふふ…。【少し笑う】
本当に、学習しない男。

【咀嚼音 8 秒 + 嚥下音 2 回】<咀嚼・嚥下音カットアウト>

…。
もう、十分でしょう。
ここまで身体を失えば、さすがのあなたも懲りたはず。
……私たち女性には、あなたたち男と違って、弱い者を許す慈悲だってあるんです。
男を生かすか殺すかを決めることは、女性の権利なんです。
というわけで、あなたに、ラストチャンスをあげます。
あなたはもう飛べないし、歩くことも自由には出来ません。
このことは、私を犯そうとした罰だと思って受け入れてください。
それでも、命だけは助けてあげてもいいです。

<SE: 硬い擦過音。主人公を解放する>

さあ、3 本の右脚だけで、どこへでも消えてください。
女性に食べ残された生ゴミとして、
女性の残飯として、
女性に迷惑をかけない範囲で生きてください。
…いいですね？

<遠ざかる葉擦れ。★ここで BGM もフェードアウト>